

学校法人 松樹学園

信州介護学校通信



信州介護 夏の陣！（日中餃子対決）



教務主任 堰口 千春

2年生の「レクリエーション計画法」の授業で「信州介護夏の陣」を企画・運営しました。本年度は中国出身の留学生が在籍、そして栃木県出身の職員が勤務していることから、中国と日本の異文化交流と、1、2年生の交流を兼ねて企画しました。

準備の段階では、感染予防対策に十分に配慮し、材料費の計算、当日の役割分担など綿密な計画を立てました。当日は、餃子の皮作りに朝早くから登校したり、餃子の餡づくり過程でひき肉が足りなくなるというハプニングが発生しましたが、2年生の見事な連携プレイでひき肉を調達、おいしい餃子を食すことができました。

コロナ禍で特に2年生は学校行事などの楽しいイベントが中止、もしくは簡素化して実施されるなど、我慢の多い学校生活だったように感じますが、今後はwithコロナで、感染対策に十分配慮した学校行事の実施を検討していきたいと思えます。



けいしんさい

繫心祭（秋の丼祭り）



専任教員 古畑 大輔

「繫心祭」の名称には、卒業生からの「色々な人達と心が繋がれるように」との思いが込められています。コロナ禍にあっては、なかなかイベントを行えず、学生たちにも窮屈な思いをさせておりましたが、今年10月になり感染が収まってきたタイミングで実施することができました。本来は地域の方との交流を目的としたイベントですが、今回は形を変えて1、2年生の交流を深めるものとして開催しました。

当日は「秋の丼祭り」と称して、学生は3つのグループに分かれ、牛肉・豚肉・鳥肉を使用した創作丼を作りました。それぞれが得意なことでお互いを支え合いながら料理をして、学年を超えて楽しむことができました。また、美味しいものを食べている笑顔はとても印象的でした。

今年の繫心祭は形を変えての開催でしたが、お互いの「こころをつなぐ」という思いは受け継がれていると感じることができました。この思いは来年度以降も引き継いでいこうと考えております。



コロナ禍での実習を終えて



2年生 北原 法香さん



コロナ禍という厳しい状況の中で、2年間で57日間の実習をさせていただくことができました。実習の受け入れをしてくださった福祉施設の関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。また、安心安全に実習ができるように、ワクチン接種を学校でできるよう保健所や行政に働きかけてくださった教職員の先生方にも感謝しています。本当にありがとうございました。



私は、実習施設の方針で、実習開始前にPCR検査を受けました。実習施設では感染対策の3原則である「感染源を持ち込まない、持ち出さない、広げない」を徹底していました。コロナ禍の実習で制約が多い部分もありましたが、就職する前に感染症対策を学べて、とてもいい経験となりました。

介護福祉士を目指す留学生

教務主任 堰口 千春

本年度はインドネシア、フィリピン、中国の各国より1名ずつ留学生をお迎えし、現在5名の留学生が在籍しております。日本人、留学生、各国の文化や信仰の自由を認め合い、毎日楽しく学校生活を送っているように私には映っています。

留学生はアルバイト代で生計を立てていますが、出入国管理及び難民認定法（入管法）で留学生のアルバイト時間に制約があり、アルバイトと学業の両立は、決して楽ではない「暮らし」です。また、ここ数年はコロナ禍で母国に帰国できず、家族に会えない、寂しい気持ちを募らせています。

そんな中、日本人学生の皆さんが、留学生の置かれている状況、そして私共教職員の立場や支援の在り方などを理解し協力してくださる姿勢には、教職員一同感謝の気持ちで一杯です。

また、この場をお借りして、関係者の方より、留学生支援のためにお米や缶詰等の食材寄付を頂きましたことを、感謝申し上げます。



留学生の声

1年生 包 玉霞さん
(中国出身)



入学前は勉強についていけるか、友達ができるか不安な気持ちで一杯でしたが、授業は丁寧でとても分かりやすく、また友達も親切にしてくれます。

先生方は生活面も心配してくれるので、安心して勉強ができています。実習先でも指導者の皆さんが親切に教えてくださり、とてもいい経験となりました。

アルバイトをしながらの生活のため、大変なこともあります。頑張ります。



第34回 介護福祉士国家試験に向けて

専任教員 古畑 大輔



国家試験の日程がいよいよ迫ってきています。今年度から受験地に長野県が追加されました。学校の近くで受験できることは学生たちにとって有利だと思います。

2年生は、後期より国家試験対策の授業が設けられ、試験本番に向けて日々勉強に励んでいます。これまでは、学習したことの学び直しを行ないながら、知識を正しく覚えることができるように取り組んできました。

今後は、学生が学んだ知識の定着を確認し、多くの模擬試験を解いて国家試験に臨みます。留学生も含め、8名全員の合格を目指し、教職員一同丸となって学生たちを支援していきます。

1年生については、来年度の国家試験に向けて留学生の日本語力を上げていくため、日本語の先生に週一回のペースで来校いただき、勉強をしています。

国家試験合格まで保護者の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



令和3年度学校自己評価結果について

学校長 小松 瑞樹



令和3年度は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症と常に向き合いながらの教育活動が続いています。猛威を振るったデルタ株に続いて、今後オミクロン株の感染拡大も懸念されています。本校ではワクチン接種への対応を早期から行って参りました。8月の段階で希望する学生、教職員すべてに2度の接種を無事完了しています。手洗い、うがいの励行だけではなく、一人ひとりが健康チェックカードを毎日記載し体調管理を万全に行い、外部への実習が非常に困難な状況ではありましたが、関連法人の協力も得ながら、本日現在すべての実習が滞りなく実施することができています。地域交流活動については人と人との接触をできるかぎり減らすこともあり、思うように進まない年が続いています。

昨年度は1学年のみのクラス編成でありましたが、今年度より2学年編成に戻り、1、2年生共に、資格取得に向けて学業に励んでいます。また、今年度より本校では新たな教職員を複数名迎えて、今まで以上に学生に向き合い、「知」「技」だけではなく、それぞれの基礎となる「心」を伝えながら教育活動を続けています。

「教職員による自己評価」の分野別平均値は、以下のとおりです。 ※（）内は令和2年度数値

| 分 野 | 評価値 | 分 野 | 評価値 |
|-----------------|-------------|------------------|-------------|
| 1 教育理念・目標・人材育成等 | 3.39 (3.33) | 7 学生募集と受入れ | 3.67 (3.80) |
| 2 学校運営 | 3.20 (3.44) | 8 財務 | 3.46 (3.55) |
| 3 教育活動 | 3.37 (3.62) | 9 法令等の遵守 | 3.40 (3.68) |
| 4 教育成果 | 2.87 (3.50) | 10 社会貢献 | 3.15 (3.40) |
| 5 学生支援 | 3.29 (3.38) | 11 意見要望の把握及びその活動 | 3.21 (3.60) |
| 6 教育環境 | 3.22 (3.87) | 全体平均評価 | 3.29 (3.56) |

学校自己評価の項目につきましては11分野50項目となり、教職員6名による4段階評価を行いました。昨年度と比較すると全体平均値は0.27ポイントの減となりました。総合的には「まあまあ取り組んでいる」以上の評価となっていますが、それぞれ細かく振り返りを行う必要があると考えています。結果の一因として、新たに迎えた教職員のこの「自己評価」という評価方式について、各項目への自身の関わりを考慮した厳しめな採点をしたであろう経緯も見受けられました。

「4.教育成果」については、昨年度2年生が不在で就職活動は行われませんでした。今年度は早期より積極的な活動を促し、就職内定率は100%となっています。また、かねてより課題である学生の卒業後の活躍や生活を把握する活動が足りず、これについては卒業生との関わりを今以上に深める努力、社会貢献やその後の活躍を広く広報していくことで、在校生の実習、学生募集や就職活動にもつなげていく必要があると考えます。

日本人、外国人留学生とそれぞれの基礎学力や意欲などをより深く理解し、学生本人だけではなく、保護者とも保護者懇談会以外の場を、必要に応じた連携をより今以上にとりながら、モチベーションの維持、そして向上心へとつなげていきたいと考えます。

来年度に向けた学生の募集状況は前年に比べて好調です。教職員同士で教育方針、教育目標をしっかりと共有し、それぞれが責任ある役割を分担、定期的にもその進捗を確認し合うことを実施していく所存です。



実習交流会

1年生 永田 深愛さん



実習交流会では、実習終了後に実習の目標を達成できたか、どのように達成をしたのか、実習で失敗したことなど次の実習をより良いものにするために一人ひとり発表を行いました。

また発表後に、パンやチーズケーキを食べながら先輩方にアドバイスをいただき、学年を超えて親睦を深めることができました。



おでかけ手話講座

2年生 山崎 千風音さん



難聴をもつ講師の方々に来校していただき、実際に体験しながら手話についての知識を深めました。

私は、手話で挨拶程度しかできませんでした。今回の講座で表情やジェスチャー等を使いながら工夫して伝える事が大切だと学びました。

また、災害時に私たちが求められていることについて考えることができました。



スーツの着こなし講習会

2年生 片桐 永莉華さん



株式会社AOKIから講師の方をお招きして、スーツの講習会をしていただきました。シャツにも種類があり、それぞれに合った着方があることや、メイクの方法等も学ぶことができました。

これから就職し、社会人になるにあたって、今回学ばせていただいたことを活かして、良いスタートを切れるようにしたいと思います。



介護補助員養成講座

専任教員 芝田 由佳



8月18～20日の3日間、塩尻市からの委託により「介護補助員養成講座」が行われました。講座は介護に関する入門的研修に位置付けられ、基本的な知識や技術を学び、介護分野へ多様な人材の参入を促進するために実施されるものです。

地域の介護人材が増え、共に働く仲間づくりの機会となりました。

(次回は令和4年3月に実施予定です。)

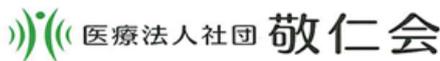
詳細は、塩尻市までお問い合わせください)



編集後記

信州介護学校通信をお読みいただき、ありがとうございます。今年は感染症対策と並行して、少しずつではありますが、学校行事を実施することができました。今後もより良い学校教育・地域貢献を目指していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、幸多い年でありますようお願い申し上げます。

【関連法人】



医療法人社団 敬仁会



桔梗ヶ原病院



社会福祉法人 平成会



有料老人ホーム せせらぎ

【姉妹校】



学校法人 松樹学園
信州リハビリテーション専門学校



学校法人 松樹学園 信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話:0263-87-0015 Fax:0263-87-0016

<https://syoujuu-g.ac.jp/kaigo/>

信州介護福祉 |

検索

ホームページ等も
ご覧ください!

最新情報を
更新中♪

